

平成22年度第2回千葉県図書館協議会議事録（要録）

- 1 日 時 平成22年12月15日（水）
午後2時から午後3時20分まで
- 2 場 所 千葉県立中央図書館 講堂
- 3 出席者 （委 員） 磯 野 嘉 子 伊 藤 修 一
川 津 敏 子 齊 藤 栄
島 利栄子 本 吉 貞 夫
- 中央図書館長 高 石 卓
西部図書館長 篠 原 やす子
東部図書館長 堀 越 崇
- 他11名
(傍 聴 者) なし

4 議 題

- (1) 平成22年度運営状況について（経過報告）
- (2) 県民の本棚について
- ①事業概要(経過報告)
- ②選定委員会設置規程について
- (3) その他

会議開会宣言の後、図書館協議会会議運営規則第6条の規定に基づく会議成立の確認がなされた。

次に、議長からの挨拶後、議事が進められた。

<会議録>

- 議 長 それでは、(1)平成22年度運営状況について経過報告を事務局から説明願います。
- 事務局 なお、事前に資料が送付されておりますので、説明は簡潔にお願いします。
- 議 長 平成22年度運営状況(経過報告)について(資料1)報告。
ありがとうございました。
- 事務局 それでは、西部図書館、東部図書館補足説明等ありましたらお願いします。
- 議 長 特にございません。
- 事務局 ただいまの説明について、ご質問・ご意見がありましたらお願いします。

私の方からひとつお聞きしたいのですが、協力援助業務の中で千葉大との貸出業務がございませぬ。これは中央図書館だけではなく西部も東部図書館も一緒にやられているわけですか。これは主に中央図書館の方へ千葉大の方から貸していただいているということですか。

事務局

西部図書館ですが、7月から11月まで6冊借用いたしました。

東部図書館は提供した冊数はありませんが、県立図書館3館で資料収集を分担しております。東部図書館は主に文学と歴史の本です。千葉大の方からリクエストがきたものが、たまたま文学や歴史関係は千葉大の方で充実しております。東部図書館の方でサービスしないというわけではございません。

中央図書館から千葉大の方へ貸しているのが千葉大本館に56冊、亥鼻分館に5冊、松戸分館に4冊、計65冊でございます。

議長

これは非常に良い協力業務で、さらに活発にされるとよいのではないかと思います。

他にないかありますか。

資料1の資料購入費ですけれども年々減額になっているのでしょうか。

事務局

平成21年度と22年度は同じ額で予算が認められましたが、23年度につきましては財政課と折衝しておりますのでまだわかりません。また、20年度から21年度に関しましては7%位減額になっております。ですから先行きは厳しいと考えております。

議長

参考までに聞かせていただきたいのですが、来年度の予算要望はどのくらい要望されていますか。

事務局

今年度と同額で予算要求しておりますが、それがそのまま認められるか、または減額されるかまだその様子はわかりません。

議長

他に何かございますか。よろしいですか。

無いようですので、先に進ませていただきます。

続きまして(2)「県民の本棚」について事務局の説明をお願いいたします。

事務局

『県民の本棚～みんなが選んだ「ちばの一冊」』事業概要(経過報告)(資料2)について説明。

議長

ありがとうございました。

県民の本棚につきましては、前回の協議会におきまして事業実施についてご承認頂いているところでございます。この協議会が終了してから選定委員会が開催されることとなっております。なお西部図書館が事務局となっておりますので西部図書館の方から説明をしていただきました。

説明が終わりましたので何かご質問、ご意見がございましたらどうぞ。

委員 読書年をうけてのこういう計画だったと伺っておりますが、このまえ送っていただいたものを拝見しました。非常に多岐にわたりこれを100冊に絞り込んでいくということは、大変な作業ではないかとまず思いました。また、大変苦勞してそれを選定して、そのあとそれをどのように活かすのか。また、100冊というのが本当に妥当なものかということをお民に了解してもらうのも意外と大変かもしれないなと思いました。まず、先に聞いておきたいことは、これをどのように活用しているのかと思われているのかお聞きしたい。

事務局 活用ですが、今申し上げた今後の事業計画予定のところには23年度選定図書のお立3館巡回展示ということで、あと日程予算的な問題がありますが、その100冊を別に購入いたしまして、それを貸出をするということをやっていただければ良いと考えています。いろいろな活用の方法もこれから考えられると思います。具体的に今これだけの資料をいただいておりますので、いろいろな面で活用できるようにしたいと考えています。またホームページにエクセルバージョンで公表していますから個人なり他の図書館でもそのデータを使うことも可能ですので、こちらでは気がつかないようなところで活用されている可能性もあるのかなと考えております。

議長 絞込みですが、それにつきましては選定委員会のなかでいろいろご説明を申しあげまして検討していただくこととなります。お答えは選定委員会の中で事務局の方からご説明する形でよろしいでしょうか。よろしくお願ひいたします。

議長 では1,390冊のうちから100冊選定するという形で選定委員会の方で細かな質問をしていただければということですね。

他にいかがでしょうか。

今後の事業計画の予定のところには3月中旬までに100冊を絞り込むということですね。

事務局 はい。そうです。

下準備につきましては今準備はしております。前回の図書館協議会の中で、今日は規程とかお示しをして第1回の選定委員会を開催するということでしたので次の説明の設置規程で図らせていただいて、それを示した後に選定委員会の中で細かなご説明をしてご意見をいただく形になります。

この後の選定委員会で事務局案を提出させていただき委員の方にいろいろご意見をいただければと思います。

議長 事業計画等の詳細について説明していただけるのですね。23年度とありますが前半なのか後半なのか。

事務局 なるべく早くやっていきたいと考えております。ただ3館それぞれ事業を持っておりますので、その時期タイミングをみて連絡調整をいたしまして、これから決め

ていくところでございます。

議長 今年度中に選定が完了すれば23年度前半、早めにこのようなことができればいいということですね。

事務局 23年度までにはそういうことで選定委員会で絞り込み選定をしていくという形です。

委員 応募状況は予想どおりですか。

事務局 本庁の各課のご協力が得られてそれで学校との連携がとれたもので本当に予想以上でびっくりしました。

委員 数字だけで見ると千葉県民の数から比べたら宣伝の仕方などで1,390冊というのは少ないなと感じました。ところが図書リストを見ましたら、読み切れないほどで1,390冊というのはこれほど、ということで感心しました。故郷の本、九十九里浜の景色も大部変わっていますし、サーファーというのも出てない写真家の九十九里浜の本なんかも、何十年も前に買って結婚するときに持ってきている本も載っているし、中学生に薦める「一瞬の風になれ」の舞台が千葉の球場だったとか気がつかないでいたんですよ。すごい貴重な資料が出来上がったと思って、それに感謝しております。また、もっともっと学校の方に宣伝が行き届いて、万全なく集まればリストだけでも結構なものだと思いました。

あとは展示のときに宣伝に重点を置いた方が良いかと思います。

100冊購入するのでしたら、県民の本棚のゴム印を押すなりシールを貼るなりして、貴重な資料としてとっておけたらいいと思います。

議長 他に如何でしょうか。

それでは次の項目についてお願いします。

事務局 『県民の本棚～みんなが選んだ「ちばの一冊」』選定委員会設置規程（案）について（資料3）について説明。

議長 ただいまの説明について、ご質問・ご意見ございますでしょうか。

委員 前回休んで申し訳ありませんが、前回の記録をみますと選定委員にイコール図書館協議会委員というような結論が、はっきり決まっていなかったように思うのですが、これは全員が横滑りでなるんですか。

議長 前回必ずしも図書館協議会の委員が、すぐそのまま全員が選定委員会の委員になるようなことになっていなかったのではないかと、ということですが、このような規程の中には一つの案ですが、そこらへんのところはということかというご質問ですけれども。

事務局 基本的には図書館協議会の委員の方になっていただきたいということでお諮りいたしました。ただ、全員の方がいらっしゃらなかったもので、承認を得るような形

をとりませんでしたので、何かの事情があつてなれないということになった場合にはその時に協議することになるかと思っております。基本的にはなつていただくということで前回のご説明申しあげました。

議長 それでは私の方から事務局にお聞きしますけれども選定委員というのはどういう具体的な仕事をするのですか。

事務局 選定委員会については、県民の方から推薦していただいた本をある程度絞り込んで、それを県民の方に還元するための選定をしていただく仕事となります。ただ、絞り込みをするためには、本の内容がわからない方もおり選べないんじゃないかというご意見もいただきました。それにつきましては、一応下準備を県立3館の司書が素案を作ってお示ししますので、その素案に対して検討していただき、承認をいただくということになります。図書館協議会の委員の方々は、いろいろな分野から出ていただいておりますので、最終的な選定についてご協力をいただきたいという事でございます。

議長 私のような素人が具体的な1,390冊もってこられて細かい作業をすることは難しいですよと、それだけの能力はありませんよ、というようなことを前回申しあげましたが、事務局のお話ですとそういう作業は3館の司書の方々を中心として選定を実際にはしていただいて、最終的に100冊選ばれてきた本でいいのかどうかということをここで最終的な結論をだすというそういう委員ということで理解してよろしいでしょうか。

事務局 はい

選定委員は13名以内としてありますので事情があつて12名になったとしてもそれは支障がないのでこの規程自体には問題がないと考えます。

議長 そうですね。それではこれはそのまま承認してよいということで了解していただけますか。

委員 わかりました。

議長 他に何かご質問ご意見ございますか。

規程の案についてなければ、事業概要及びこの規程の案につきましてご承認いただけますでしょうか。よろしいですか。

委員 (異議なし)

議長 ありがとうございます。

それでは、協議会終了後の選定委員会もよろしくお願いいたします。

続きまして、(3)その他についてですが、事務局から何かございますか。

事務局 事務局より県立図書館の近況報告

1 「(仮称)千葉県立図書館の今後の在り方」素案について(資料)4)

- 2 県立図書館の近況について
- 3 中央図書館の企画展示について
- 4 「図書館学びトーク」実践報告書について
- 5 館報「知識は旅をするについて

議 長

ただいまの報告について、ご質問・ご意見がありましたらお願いします。

特にないようでしたら

以上で、本日用意されている議題は終了しましたが、折角の機会ですから何かご提案・ご意見がございましたらお願いしたいと思います。

ございませんか。

それではその他といたしまして、事務局から次回の図書館協議会の予定についてお知らせ願いますか。

事務局

次回第3回は、平成23年3月中旬を予定しております。

議 長

他になければ以上で議事を終了いたします。議事の進行にご協力ありがとうございます。

以上で、平成22年度第2回千葉県図書館協議会を終了した。